

白井大師 第20番 中・薬師堂（中集会所）

1 名称 (No.020) 〔大11：薬師堂〕〔昭63：薬師堂〕〔平08：薬師堂〕〔平17：中集会所〕

2 場所 白井市中327-1 中集会所

名内・東光院から道程約1,880m

名内・野中大師から道程約930m

GPS座標 35.81737121875066, 140.05418294938465

3 由緒

4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が1体あり。白井町石造物調査報告書(昭和62年3月)によると安政4年(1857年)のもの。堂外に中大師講解散記念「弘法大師之像」(平成17年12月吉日)が1体あり。

5 境内 大師堂のほか観音堂、中集会所・薬師堂、四国霊場八十八ヶ所順拝供養塔などあり。

6 写真 (2022.11撮影)



観音堂(左)と大師堂(右)



御大師様



大師堂立像と供養塔



中集会所・薬師堂



御大師様立像と供養塔



大師堂と供養塔

7 情報

(1) 四国八十八ヶ所 第20番 鶴林寺 御詠歌

しげりつる 鶴の林を しるべにて 大師ぞいます 地藏帝釈

高野山真言宗 霊鷲山(りょうじゅぜん) 宝珠院 鶴林寺(かくりんじ)

本尊 地藏菩薩 (徳島県勝浦町)

(2) 大師講の解散

中大師講解散記念「弘法大師之像」(平成17年12月吉日)があった。下長殿・長栄堂の弘法大師像の建立と同様、白井大師講の解散に伴い、中地区の大師講も解散し、記念に建立したものである。(2022.11現地調査)

(3) 印西大師第18番の遷座

中・薬師堂は印西大師の番外札所である。「印西八十八ヶ所手引鏡」に、「(表紙裏書・異筆) 十八同(番) 仲村 荒野 なぎのどう」(第18番を荒野なぎの堂から仲村へ遷座する)との記載がある。また、印旛歴史民俗資料館の「印西大師順路図」には「第18番 荒野 凧の堂 白井の中へ遷座決まるものの遷座せず現在に至る」、「本番札所の協議をされたのは昭和十年代当初と推察されます」との記載がある。ここでいう「仲村」及び「中」というのは、中・薬師堂のことだろうと思われる。石造物が多いことや立派な大師像が建立されていることから、昔から大師講に熱心に取組んできた集落に違いない。

手引鏡の明治4年の段階では△印の番外札所がなく、明治39年の梶原納経帳にもないので、印西大師に加入したのはその後のことになる。明治38年(1904年)には白井大師講が創設され、中・薬師堂は第20番札所となった。大師講にたいへん熱心な集落であったため、印西大師においても番外ではなく本番札所としての扱いを望んでいたであろう。その願いが昭和十年代当初に協議され第18番が荒野から譲られることに決まったものの戦争などあったため遷座の話は立ち消えになってしまい、現在に至っているのではないかと考えられる。(推測)